

学校教育目標	「ここに根づき、ここを愛し、ここを創る 入船の子」 〔知〕 基礎・基本を身に付け、問題解決に向けて、自ら学ぶ子ども 〔徳〕 自らを律し、人を思いやるやさしさをもった心豊かな子ども 〔体〕 基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康な子ども 〔公〕 地域を愛し、地域の人と関わり地域とともに生きる子ども 〔開〕 多様性を認め共生する力をもち、新たな考えを創る子ども				
	創立 95 周年	学校長 中村 公俊	副校長 田村 由美子	2 学期制	一般学級：7 個別支援学級：2
学校概要	児童生徒数： 193 人 主な関係校： 寛政中学校 汐入小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<規範意識> <基礎学力> <協働性>	寛政中学校 入船小学校 汐入小学校	基礎的・基本的な学力を身に付け、それを活用することができる子ども。基本的な生活習慣を身に付け、健康を維持できる子ども。 マナーを守り、他者への思いやりをもち、他者とコミュニケーション。 ・小中ブロック交流会の中の授業参観・研究協議会の内容を充実させる。 ・3校の教務主任や専任教諭の連携を密にし、課題解決に共同で取り組む。 ・小中交流日の活動内容を充実させるとともに、小学校行事等への中学生の協力を得て、小中の関わりを深める。 ・規範意識を育てるために、寛政中ブロックのスタンダードを見直す。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校生活全体のなかで、児童一人ひとりの自尊感情を高め、自己有用感を育成します。</li> <li>○学習意欲を高めて基礎的・基本的な学力を定着させ、それを活用する力をつけます。</li> <li>○運動することの快さや仲間と協力してスポーツをすることの楽しさを実践を通して体感させます。基本的な生活習慣・食習慣の確立を図ります。</li> <li>○小中、幼保小の連携や地域との「横」のつながりや、縦割りグループによる「縦」のつながりを生かした学校づくりを推進します。</li> <li>○家庭・地域・関係諸機関との連携・協力を深め、安全で安心な学校づくりを推進します。</li> <li>○教職員が、お互いを高め合いながらそれぞれの力を発揮し、協力し合って生き生きと働ける職場をつくります。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きて はたらく 知	①重点研究を通して、児童が互いに学び合う授業づくりを目指す。②放課後の学習支援を必要とする児童に「学び場」、日本語支援を必要とする児童に「つるみーによ」を毎週火曜日に行う。また、「読み聞かせ」や「国語・算数スキルタイム」を水・木・金の朝15分間行い、学習の定着を図る。
徳 豊かな心	①道徳科の授業や縦割り活動や日々の生活の中で、一人ひとりの児童が人に認められたり感謝されたりする場面を作り、自尊感情を高め、自己有用感を育てる。 ②芸術鑑賞会を通して、音楽や芸術との出会い、情操を豊かにする。
体 健やかな体	①授業、体育的行事、「入船ギネスチャレンジ」などを通してスポーツの楽しさを味わい、意欲的に体力の増進に取り組む児童を育てる。 ②児童の基本的な生活習慣・食習慣の確立、感染症予防の意識向上を図るための指導を工夫するとともに、保護者への啓発活動も行う。
公 開 地域連携 学校運営協議会	①地域行事を通して、地域とのかかわりを深め、地域の教育力を学校教育に活用できるようにする。 ②学校だよりや学校HP、学校運営協議会や地域学校協働本部を活用して地域に学校の情報を積極的に発信し、学校の取組への理解を図るとともに学校行事や児童指導等への協力を働きかける。
いじめへの対応	①道徳教育を中心に全ての教育活動において、児童一人ひとりにいじめを許さない気持ちを育てる。 ②専任が中心となり、いじめや問題行動に対して組織的に対応できる体制を確立する。アンケートや情報交換などを通して、情報収集を行い、児童に寄り添い迅速に対応できるようにする。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①学年ブロック制・一部教科分担制・部会制などの取り組みを通して、チームとしての組織的な動きが機能するよう努めていく。 ②5年次未満の教職員を中心にメンターチームを組織し、主幹教諭を講師に授業力や児童指導力の向上に向けて、研修を計画的に進めていく。
児童生徒指導	①アンケートや研修を通して、児童・保護者の実態やニーズを全職員で理解し、共有する。スタンダードも活用し、児童一人ひとりに全職員が同じスタンスで支援指導を行う。 ②外部専門機関との連携を図るなど幅広い対応を推進し、児童の成長を多面的に支援する。
特別支援教育	①全教育活動を通して、児童の人権感覚と実践力を育てる。 ②児童の特性やニーズに合った特別支援教育的な支援・指導のあり方について研究と実践に努める。個別支援級の環境整備に努め、ユニバーサルデザインの有意義な活用を実践していく。
安全管理	①災害の設定を変えた年間10回の対応訓練を行い、児童が自分の身を守る意識や行動力を高められるようにする。 ②防犯や情報機器の使い方について正しい知識や技能を身に付ける。3密を避けた環境の中、手洗いの習慣などを身に付けるようにし、感染症対策を行う。
担当	b10
担当	